

御殿場市における協働の課題の整理 (8/17・ワークショップより)

テーマ		問題点 課題
個人		古い気質である <ul style="list-style-type: none"> 御殿場人の気質は「人任せ」「保守的」「閉鎖的」「排他的」傾向 地元「協働」はなじむのか? 一人ひとりの意識が低い 無関心な人が多い <ul style="list-style-type: none"> 「赤の他人」という意識 大人の問題 <ul style="list-style-type: none"> 隣の子供は叱らない 公共ルールを守らない 公共の場所の使用状況が悪い ポイ捨ての問題
地域コミュニティ		長老支配が強い 保守的 <ul style="list-style-type: none"> 古い行事にこだわる 外から来た人は「よそのもの」扱い 交流がない <ul style="list-style-type: none"> 世代間交流が少ない(中学生以上は特に) 各地域での活動が他の地域には知られていない
市民参加		参加の場や機会がない <ul style="list-style-type: none"> 高齢者、退職者、女性の活躍できる場が少ない 意識の高い市民の発掘が必要 参加したい人をまとめる場がない
組 織	自治会	組織活動のマンネリ化 協力がいない <ul style="list-style-type: none"> 自治組織への未加入 地域住民の協力がいない
	ボランティア	未組織化 ボランティア活動組織の老齢化 参加者の固定化 <ul style="list-style-type: none"> 活動する人が増えない 評価がない <ul style="list-style-type: none"> 良くなっているのかわからない 活動の実感がない
	各種団体	横のつながりがいない <ul style="list-style-type: none"> 子供会、PTA、育成会など
	企業	参画不足 企業の参加意識がない
	行政	意識の問題 <ul style="list-style-type: none"> 意識が低い 理解不足 住民に丸投げ 領域意識が強く、組織としての連帯感に乏しい 体制の問題 <ul style="list-style-type: none"> 横断的なつながりがいない 情報、コミュニケーションの不足 地域とのつながりがいない <ul style="list-style-type: none"> 地域団体とのつながりが薄い 青少年育成にもっと関わるべき 見直し体制がない <ul style="list-style-type: none"> 計画や事業活動の評価・見直し体制がない
市の特性	財産区の問題 <ul style="list-style-type: none"> 財産区頼みの行政 地域に不公平感がある 財源の有効活用 自衛隊と市民参加の見直しと関わり方	
全体の課題	市のビジョンがない <ul style="list-style-type: none"> 富士山の街にふさわしいまちづくりのビジョンに欠ける あるべき御殿場市像の確立 協働の認識不足 <ul style="list-style-type: none"> 言葉が独り歩きしている 行政サービスの放棄ととられる 	

